

宇宙利用ユーザープラットフォーム (SBIC) 2023年度 標準化WG 第6回会議 議事次第

【日時】 2024年3月7日(木) 15:00-17:00

【会場】 JSS-TEAMS会議室

— 議事 —

- | | |
|---|---------|
| 開会 | … 15:00 |
| 1. 前回議事録確認 | |
| 2. 国際標準化の進捗報告と討議 | … 15:10 |
| (1) フランス提案 ISO/NP 25082-1への日本としての対応 | |
| (2) 自動運行船の高精度地図 | |
| (3) GNSS/光学センサ複合による測位補強サービス | |
| (4) IEC 61108 みちびき船用受信機, 船用SBAS, 船用NavIC受信機 | |
| (5) 月測位に関する標準化 | |
| 3. 相対位置の標準化 | … 16:35 |
| 4. 連絡事項 | … 16:45 |
| ◇ 資料 | |
| 前回議事録 | |
| 標準106-1 当議事次第 | |
| 標準106-2 標準化会議資料 | |

2024年度 標準化WG 日程表

日程	イベント	備考
5月23日(木)	標準化WG 第1回会議	年度始め
7月18日(木)	標準化WG 第2回会議	
9月12日(木)	標準化WG 第3回会議	
11月21日(木)	標準化WG 第4回会議	
1月23日(木)	標準化WG 第5回会議	
3月6日(木)	標準化WG 第6回会議	年度最終回

会場：SBICオンライン会議室，時間：15:00～17:00。尚、臨時会合は必要に応じて開催します。

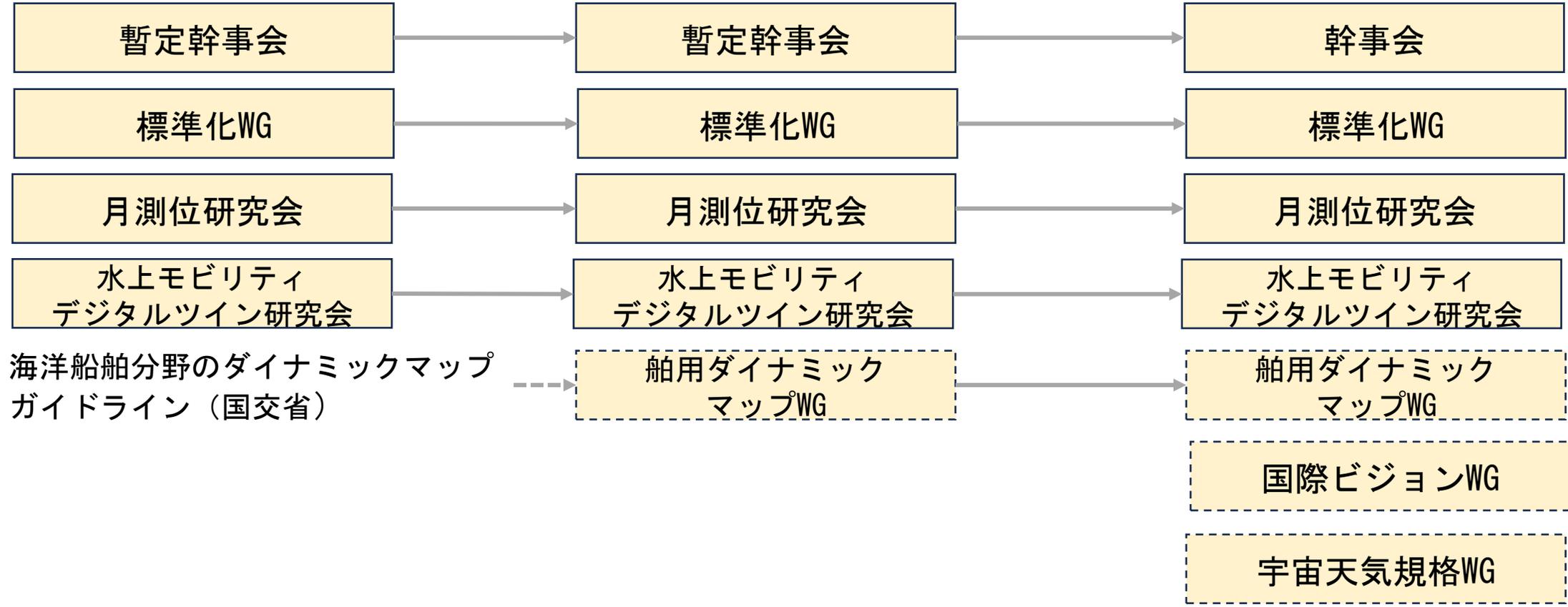
※ スケジュールは、状況により変更になる場合がありますので最新版をご参照ください。本表は 2024年3月17版です。

宇宙利用ユーザープラットフォーム

2023年度

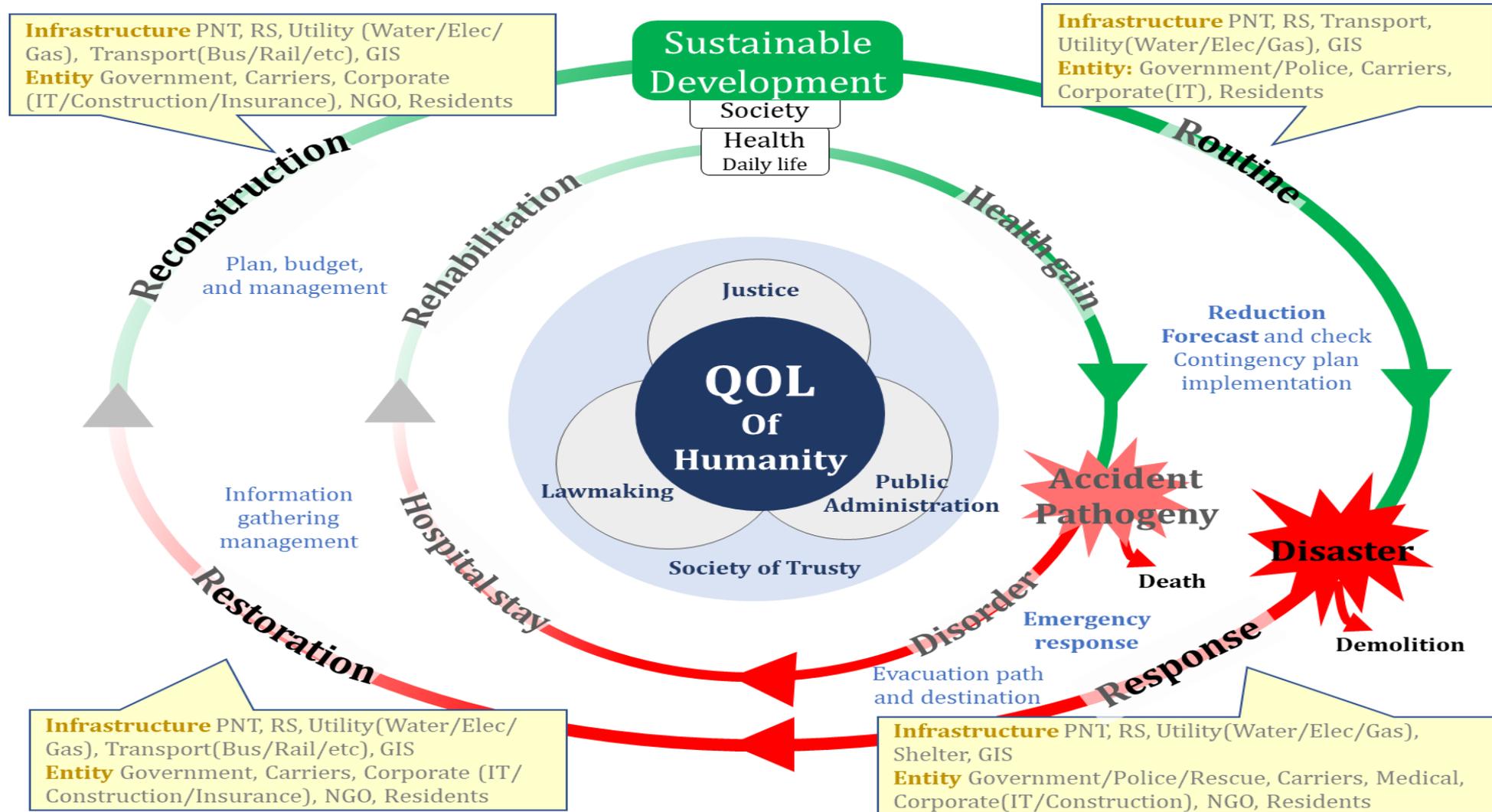
2024年度

将来(案)



Space Systems for *Quality of Life*

宇宙利用ユーザープラットフォーム (SBIC) は、標準化国際会議で日本代表団が推進する「宇宙システムを利用した生存品質 (Quality Of Life) の向上」を共にめざします。



SDGs ウェディングケーキ・モデル

United Nations and ISO have SDGs; the SDGs are aimed at three layers. As shown in Figure 1, these layers are [I] Biosphere, [II] Society, and [III] Economy. This model is called the SDGs wedding cake model. It was proposed by Prof. Johan Rockström at the Stockholm Resilience Centre.

③ 経済圏

② 社会圏

① 生存圏



Figure #
SDGs
wedding cake
model

Reference: <https://www.youtube.com/watch?v=tah8QlhQLeQ>

[I] Biosphere includes (6) Clean water and sanitation, (13) Climate action, (14) Life below water, and (15) Life on land. [II] Society includes (3) Good Health and well-being, (4) Quality education, (7) Affordable and clean energy, and (11) Sustainable cities and communities. [III] Economy includes (2) Sustainable agriculture, (8) Decent work and economic growth, (9) Industry, innovation and infrastructure, and (12) Responsible consumption and production.

「宇宙」が創る日本の未来

- 月には、ロシアの2倍の面積の土地がある。
宇宙条約によって、どこかの国のものには出来ない。民間活動は奨励されている。
やがて、国際的な管理組織が必要になる。(→ 事実上の政府。民生宇宙機関?)
日本は早期より仕組みづくりの先頭集団に入り、中心的な地位を築くのがよい。
そこはどの国よりも広い土地と空間を持つ地域である。
国連の敵国条項・常任理事問題の無意味化。
- 月・小惑星及び惑星・惑星の衛星の資源開発・商用利用にライセンス料を徴収。
その財源を、宇宙デブリの処分に充てる。
 - 国内コンセンサス形成 → 国連 COPUOS 提言 → 国際連携による実現
 - 技術的には 10cmサイズ以上 のデブリしか監視されていないとの課題もある。
 - デブリがデブリを作る「ケスラーシンドローム」は既に始まっている。
- 航空分野では、国際民間航空機関(ICAO)を1947年にICAO条約に基づき創設。
元になったのは、1937年に設立された航空無線技術委員会(RTCA)。